

月刊 松代地区振興計画づくりニュース

第3号 平成25年9月1日 松代地区住民自治協議会発行

いよいよ9月がやってきました。記録的な酷暑にうんざりの8月が終わり、ブドウやリンゴ等果物が美味しい季節がはじまります。台風など災害の無い、穏やかでさわやかな秋になってほしいものです。

振興計画の策定作業は 企画会議 企画調整会議 3部会の会議 策定委員会と段階を踏んで、一步一步前進をしています。 今月は商工会議所松代支部青年部をはじめとする若手経済人の皆さんとの懇談を予定するなど、今後も住民の皆さんとの議論の場づくりを計画していきます。

8月の第3日曜日(18日)に第1回松代城下町の軽トラ市が開催されました。この催しは振興計画の議論の中で生まれてきたものです。今後、毎第3日曜日に実施されるこのイベントも、我まちの事業として大切に育てていただきたいと思います。

より良い松代地区を目指して、振興計画策定に対し住民の皆様のご意見をお寄せいただくなど積極的な参画をおねがいします。

ご意見等は 直接事務局まで メール (mail@matsushirochiku.com) などで



振興計画の基本コンセプトについて検討を進めています

企画会議・企画調整会議でこれからの松代地区がどうあるべきかの「基本コンセプトの素案」について検討を進めています。現時点での素案は

安心して 暮らせる 城下町まつしろ

暮らしたくなる 行ってみたくなる 楽しみたくなる わが故郷

この素案に込めた思いは

住民が安心して快適に暮らせる美しいまちづくりを基本に
訪れる人たちにとっても快く楽しめるまちで多彩な交流が生まれる
我地区が誇れるものの代表は豊富で整備された歴史文化財、その象徴は松代城



今後この基本コンセプト素案は、住民の皆様の意見をはじめ各方面で議論いただき、各部会では決まったコンセプトに添ったプロジェクト・実施すべき事業について検討を加えていくこととなります。

<参考> 自治体等の基本コンセプト

長野県 (総合5か年計画)

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」

長野市 (総合計画 基本構想)

「善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち ながの」

松本市 (総合計画 第9次基本計画)

「健康寿命延伸都市・松本」 経済・環境・人・生活・地域・教育文化 の健康

上田市 (総合計画 後期)

「日本のまん中 人がまん中 生活快適都市」水跳ね 緑かがやき 空こころ晴れ渡るまち


小布施町 (第5次総合計画)

「暮らしにあふれる笑顔 いいひと いいまち」わくわく小布施～自律と協働そして交流

松代における近年のまちづくり等プランについて

計画づくりを進めるに当たり、今まで松代地区はどんなプランでまちづくりを進めてきたかを検証しました。各プランはそれぞれの時代で成果を上げ、今のまちを形づくる原点となっています。

いかに地域で計画を持っていることが大切か、更には行政の支援の重要性が再認識できます。

策定年度	プラン名	位置づけ	基本コンセプト	ねらい
平成7年	300万人観光プロジェクト21	県中小企業指導所が活性化診断行い松代に提言	「城下町ロマン松代」300万人リゾートタウンの形成	・住む人が誇りを持てるまちおこし ・後世への遺産づくり
平成13年	中心市街地活性化基本計画	法に基づき市が策定した市街地整備・商業等の活性化計画	信州松代まるごと博物館	・城下町らしいまちなみの形成 ・歴史と文化を生かした観光商業 ・もてなしの心の醸成 ・人にやさしい交通環境整備
平成16年	松代観光戦略基本計画「松代プラン21」	松代城復元に併せた集中キャンペーン「エコールド・まつしる2004」	遊学城下町 信州松代	・趣味や生涯学習に活用する歴史的文化的文化財活用運動の推進 ・市民参画による生涯学習交流リゾート化のための体制整備
平成22年	2010松代イヤー「松代城築城450年」 	市の「1200万人観光交流プラン」での2度目の松代イヤー	交わり会い響き合う遊学城下町 信州松代	・多彩な体験・体感の場に積極的に文化遺産を活用 ・中心市街地と周辺地域との一体的な発展 ・「おもてなし」する観光を地域住民が支える仕組みづくり ・観光客の経済効果＋地産地消を中心とする地域循環社会

地区外の学識者が指摘する松代地区活性化のヒント

長野大学客員教授 三田 育雄 氏

1 松代地区の現状評価

- ・人口は18.2千人で経年的に減少傾向
- ・歴史的、文化的ストックは豊か
- ・50～60万人の観光客は大きな財産
- ・地域の経済活動は鈍い
- ・屋代線廃止で地域の地盤沈下が懸念されている
- ・住民のアイデンティティ（帰属意識）は極めて高い
- ・農業地帯は有数の野菜産地で注目すべき資源

2 松代地区活性化の方向

- ・活性化の先導事業となる地域主導ビジネスを興す
- ・地区の野菜生産力を活用し、農産物・加工品・食をキー商品とする
- ・魅力的商業環境づくりは街並み・風情・文化と豊かな田園都市づくりと一体で
- ・商圏は地元圏＋長野市街地＋観光客をターゲットに
- ・ものづくり先行でなく、集客力の高い魅力的商業環境づくり「売り場づくり先行」の取組
- ・売場のコンセプトはフェスティバル・マーケット（生活市＋催事性・ドラマ性）
- ・まちづくりは息の長い取り組みを継続することが肝要

（小布施町40年、大分県大山町60年、愛媛県内子町40年、群馬県川場村40年）